

Endoscopy Unit

光学医療診療部

連絡先

光学医療診療部：0853-20-2414
病棟：0853-20-2493
医局：0853-20-2190 FAX0853-20-2187

部長

柴垣 広太郎 准教授

専門分野：
消化管腫瘍の診断と内視鏡的切除
資格：
日本内科学会総合内科専門医・指導医
日本消化器病学会消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医



膀胱、気管支、消化管および肝胆膵疾患の診断を造影 X 線検査や内視鏡、超音波を用いて行っています。
また、各種消化器疾患の超音波や光学機器を用いた最新の治療を提供しています。

診療内容

主な検査：上下部消化管内視鏡、内視鏡的逆行性膵胆管造影、超音波内視鏡および超音波内視鏡下穿刺吸引法、カプセル内視鏡（小腸及び大腸）、ダブルバルーン内視鏡、腹部超音波、ソナゾイド造影超音波、肝生検、非侵襲的肝弾性度診断、膀胱鏡、気管支鏡、消化管生理的検査（pH モニター、マノメーター等）など

主な治療：消化管癌内視鏡的治療（EMR、ESD）、肝癌治療（ラジオ波、PEIT）、胆道・膿瘍ドレナージ（内視鏡的・経皮的）など

特徴

消化器系・呼吸器系・泌尿器系の内視鏡診断を消化器内科、肝臓内科、呼吸器・化学療法内科、泌尿器科等、各科協力体制のもとに行っています。消化器診断領域では新型コロナウイルスに対するスタンダードプリコーションを徹底しながら、超音波内視鏡下生検診断、カプセル内視鏡やダブルバルーン内視鏡を用いた深部消化管の診断を多くの内視鏡指導医のもとに行っています。小腸に加えて、大腸カプセル内視鏡も導入し、非侵襲的消化管検査も充実してきております。消化管の生理機能検査を行うことができ、明らかな病変のない消化器症状をもつ患者さんの診断（GERD、食道運動機能異常等）にも力を入れています。超音波領域では超音波専門医が業務に携わり、通常の超音波検査に加え、ソナゾイド造影検査やナビゲーションシステムを用いて緻密な肝がん診療を行っています。また、超音波を用いた非侵襲的弾性度診断も行っています。治療においては内視鏡的粘膜剥離術を中心とした消化管癌の低侵襲治療を積極的に行っています。胆膵領域では、消化管術後で通常の内視鏡が挿入困難な、胆道系の内視鏡的・経皮的処置も、関連施設からの紹介を受けて数多く行っています。2019 年度からは重症例の内視鏡治療について、高度外傷センターとの合同診療を開始し、より安全で迅速な救急内視鏡診療が可能となりました。

また、近年は、頭頸部癌に対する内視鏡治療について、耳鼻咽喉科・頭頸部外科との合同手術を開始し、より精度の高い頭頸部内視鏡診療を行っています。肝臓領域では豊富な症例数と長年の経験を持つ医師が肝がんの安全かつ確実なラジオ波治療を提供しています。気管支内視鏡検査については、呼吸器・化学療法内科の診療案内をご参照ください。膀胱癌の診断に必須である膀胱鏡は泌尿器科専門医を中心に行い、加えて narrow band imaging (NBI) を用いることで診断効率の改善を図っています。

2018-2022年度の諸検査実施数

検査総数	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
上部消化管内視鏡	3539	3292	3083	3588	3865
下部消化管内視鏡	1603	1699	1624	1795	1896
超音波内視鏡					
・消化管	81	68	61	73	95
・胆、膵	159	159	183	195	218
治療件数					
内視鏡的主要切除					
・上部ESD/EMR (食堂・胃・十二指腸)	194	137	127	147	147
うち、全身麻酔下ESD	47	21	17	32	20
・大腸ポリペクトミー・EMR	510	438	425	487	474
・大腸ESD	60	46	29	35	39
・咽喉頭ELPS	12	7	4	1	2
内視鏡止血術					
・上部	111	75	57	105	53
・下部	26	23	21	36	33
食道静脈瘤治療					
・EVL	21	29	19	38	24
・EIS	7	5	9	12	13
内視鏡的逆行性胆管膵管造影	443	487	481	499	396
ダブルバルーン内視鏡					
・上部	35	58	47	53	53
・下部	62	78	58	65	69
・胆・膵	102	115	91	94	94